

ハイネズ

Juniperus conferta parl.

ヒノキ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

海岸開発、園芸用採取で減少し、ごく限られた場所のみ生育する。(現況:V-)

形態

葉は鋭針形で3個輪生その基部に関節があり、落ちるときはこの部分からとれる。毬果は大きく長さ9mm、径8mmの鱗片は普通3片で胚珠3個が頂生する。種子は三角状卵形。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

外浦区、中能登、南加賀区。

生態など

幹は地表を這うかまたは崖から垂れる。

生育環境

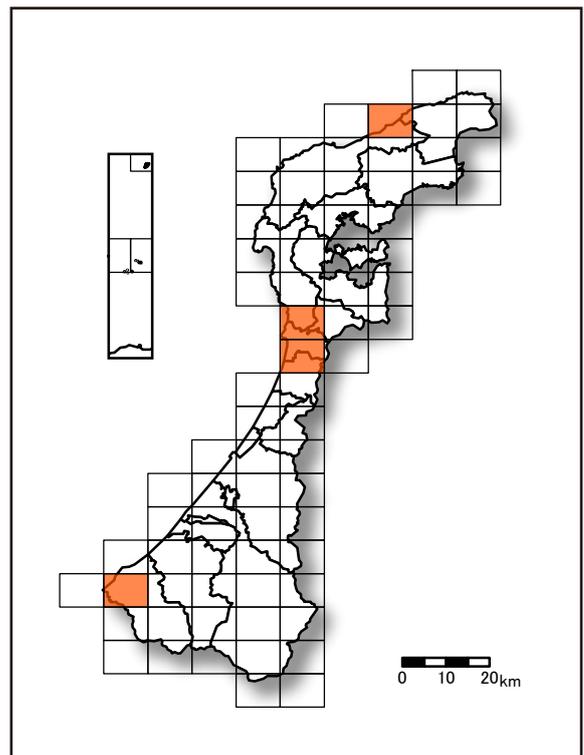
日本海沿岸部。

危険要因

海岸開発、園芸採取、その他(沿岸の浸食)。



林 二良・2004年6月13日・外浦



県内の分布